

# 北陸地方整備局の支援状況

## 救出活動への支援

### ●行方不明者の救出に関わる支援

長岡市妙見町の土砂崩落現場において、皆川優太くん救出と貴子さん(母親)収容には照明車を派遣。現在、真優ちゃんの収容にむけて、照明車7台、遠隔操縦式バックホウ2台、衛星通信車などの災害対策機械を派遣している。



土砂崩落現場の対岸からの照明活動



遠隔操縦式バックホウの操作



## 避難生活への支援～ライフラインの確保～

### ●避難所等へ照明の提供、水の提供

小千谷市内の被災住民避難所に照明車5台(関東地整所有)を派遣し、夜間照明及び電源供給を実施中。また、栃尾市内の断水世帯に造水車1台(近畿地整所有)を派遣し、生活用水を供給した。



造水車(近畿地整所有)による応援(栃尾市内)



避難所における夜間照明(小千谷市千田中学校)

### ◆被災地への災害対策機械の派遣

隣接する3地方整備局(東北、関東、中部)の協力を得て、被災現場や復旧作業現場に災害対策機械等を派遣している。

災害対策機械	台数	災害対策機械	台数
照明車	16台	対策本部車	2台
画像伝送設備	5設備	遠隔操縦式バックホウ	2台
排水ポンプ車	3台	待機支援車	2台
排水ポンプユニット	8基	造水車	1台

(台数はピーク時)

### ●簡易トイレの設置

4市2町の被災住民の避難所等に869個の簡易トイレを設置している。北陸地方整備局の依頼により、建設業関係3団体<sup>(※)</sup>が実施した。

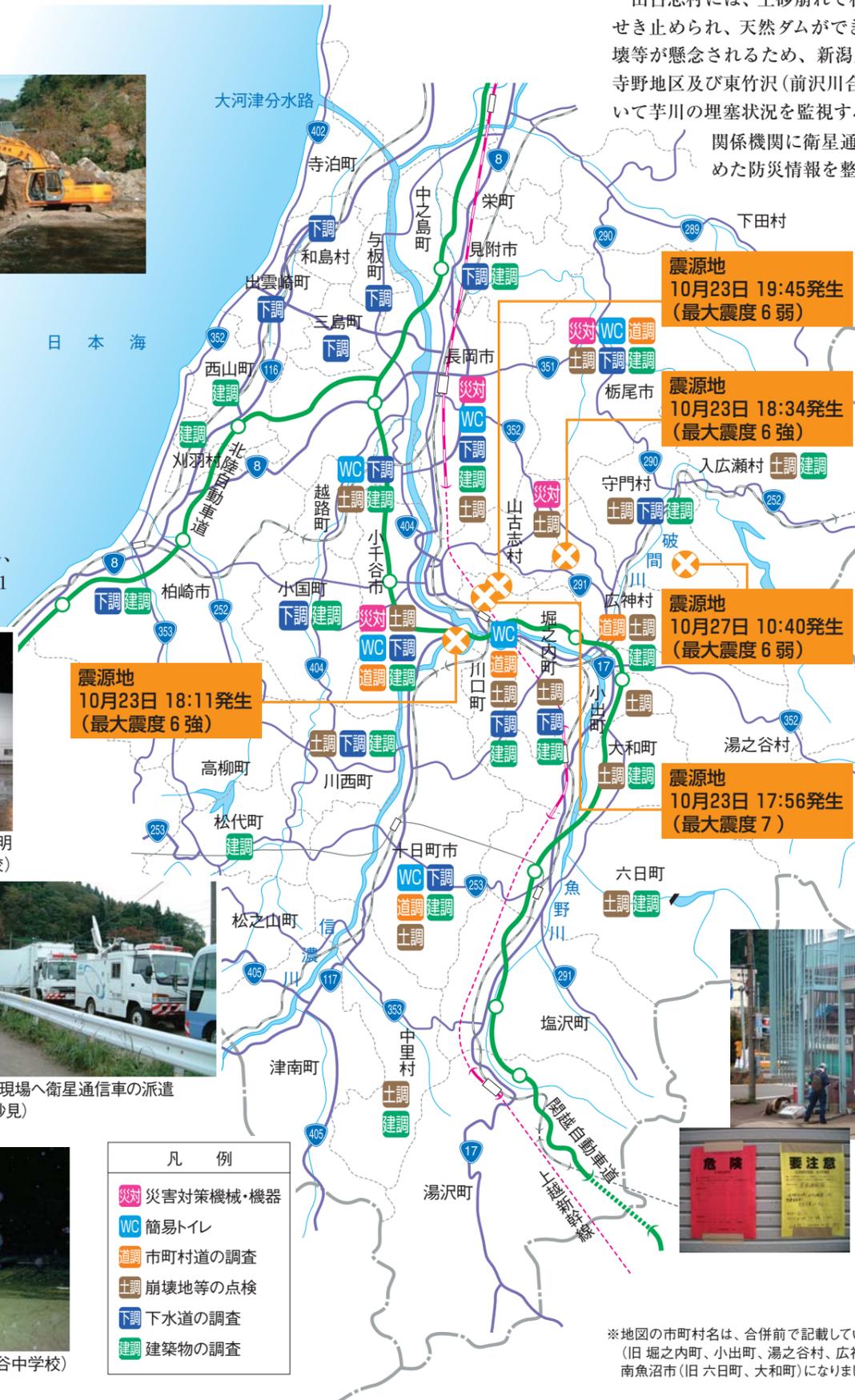
(※) (社)日本土木工業協会北陸支部  
(社)日本道路建設業協会北陸支部  
(社)プレストレスト・コンクリート建設業協会北陸支部



避難所に設置された簡易トイレ(小千谷中学校)



土砂崩落現場へ衛星通信車の派遣(長岡市妙見)



凡 例

- 災害対策機械・機器
- WC 簡易トイレ
- 市町村道の調査
- 崩壊地等の点検
- 下水道の調査
- 建築物の調査

## 二次災害防止への対応

### ●危険箇所の現地画像の配信

山古志村には、土砂崩れで村を流れる芋川の流水がせき止められ、天然ダムができています。天然ダムの決壊等が懸念されるため、新潟県の要請により山古志村寺野地区及び東竹沢(前沢川合流点下流)の2箇所において芋川の埋塞状況を監視するためのカメラを設置し、

関係機関に衛星通信設備(Ku-SAT)を使用して画像配信している。また、この被災画像を含めた防災情報を整備局管内の光ケーブル網を利用し、新潟県庁等へ配信している。



芋川天然ダムの監視用カメラ設置(山古志村東竹沢)



国土交通省 北陸地方整備局

芋川天然ダム東竹沢



Ku-SATで画像配信(山古志村寺野)

## 災害調査等の支援

### ●市町村道災害の復旧支援

地震により被災した市町村道については、まだ十分にその被災状況を把握し得ない状況にある。新潟県からの要請で10/30より北陸地整内に「新潟県中越地震による市町村道の道路災害の復旧支援本部」を設置し、翌10/31から11/3まで職員等を現地に派遣し、5市町村1,550箇所の市町村道の緊急調査を実施した。

### ●崩壊地等の点検

新潟県では地すべりや山腹崩壊が発生しているその状況が不明なため、詳細な状況を把握する必要がある。そのため新潟県の要請により10/27から10/31にかけて、土砂災害対策緊急支援チームを編成し、人命に影響を及ぼす恐れの高い箇所を有する17市町村を対象に、土砂災害危険箇所等の緊急点検を実施し、1,469箇所の点検結果を新潟県に報告した。

### ●下水道の被害状況調査

下水道施設は広い範囲で被害が発生した。新潟県の要請を受け、被災市町村の早期復旧を支援するため「新潟県中越地震下水道災害復旧支援本部」を設置し、全国の地方自治体職員の応援により6市8町2村で、被災状況把握のための概略調査を実施している。

また、水道の復旧に伴う下水道利用の再開に向け、被災箇所の応急工事を進め、環境保全にも努めている。



市町村道の災害状況緊急調査(小千谷市三仏生)



土砂災害危険箇所の緊急調査(六日町関屋)



下水道の被災状況把握のための概略調査状況(出雲崎町)

### ●被災建築物の応急危険度判定

被災者の一刻も早い生活再建には家屋の安全性の専門家による判定が必要。新潟県からの要請に基づき、北陸地方整備局内に「判定支援調整現地本部<sup>(※)</sup>」を設置。新潟県及び地方公共団体等に協力し、11/2までに6市9町5村の30,259戸の応急危険度判定を行っている。

(※) 構成組織：国土交通省、(独)都市機構、住宅金融公庫、(財)日本建築防災協会

## その他

### ●応急復旧工事に必要な「土のう袋」の提供

被災道路の応急復旧に必要な土のう袋の提供要請が小千谷市からあり、緊急に管内河川事務所が水防用として備蓄している1万袋を提供した。

### ●復旧作業に必要とする衛星携帯電話の貸出

電話などの通信網が途絶している山古志村の復旧作業に活用するため、10/26から新潟県等に対し衛星携帯電話を5台貸し出している。



被災建築物の応急危険度を判定(川口町)余震によって黄(要注意)が赤(危険)となる建築物がある。

※地図の市町村名は、合併前で記載しています。11月1日より魚沼市(旧堀之内町、小出町、湯之谷村、広神村、守門村、入広瀬村)、南魚沼市(旧六日町、大和町)になりました。